

奈良革新懇

平和・民主・革新の日本をめざす奈良の会（奈良革新懇）
〒630-8213 奈良市登大路5-5 奈良県教育会館内

【携帯】080-4243-6370 【E-mail】tukasa55122000@yahoo.co.jp

全国革新懇ニュース474号（奈良版）
《発行》平和・民主・革新をめざす全国の会
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-7-8
千駄ヶ谷尾澤ビル

2025年11月号

225号



世界人類の危機と打開への展望



實 清隆さん

1940年大阪市生まれ。1965年東京大学卒業。北海道大学、富山大学、奈良大学、帝塚山大学等で教鞭をとる。2018年アジア市民大学学長に就任(6期)。研究分野は地理学、都市・交通計画・政策学。

奈良大学名誉教授
アジア市民大学学長

實 清隆さん

第二次世界大戦後の 戦争と平和をめぐる国際情勢

第二次世界大戦後、世界の平和を願って国際連合が創設されたが、20世紀後半では、米ソの冷戦、朝鮮戦争・中東戦争・ベトナム戦争・湾岸戦争、コンボ紛争、21世紀に入っても、2001年テロ、ロシアのクリミア半島・ウクライナ侵攻、イスラエル・パレスチナ紛争など紛争・戦争が絶えず、恒久平和は実現できていません。国連が完全に紛争・戦争を取り仕切れていないのが現実です。そのような状況下でも国連の活動として、核兵器については核兵器不拡散条約(NPT)が191か国参加、核兵器禁止条約では参加国が99か国、批准74か国・地域と一定の進展が得られています。唯、核兵器所有9か国、保

有国と同盟国は不参加で、核戦争の危機は去っていません。しかも、21世紀に入って、世界の軍事費は膨らむ一方で、世界平和は「抑止力」の競争でのバランスという極めて危険な状況にあります。

21世紀に入って中国が急激な経済成長を遂げ、一帯一路を掲げ、中華思想の再現による世界制覇構想と大ロシアの復活構想が呼応し、EU・米を基軸としたグループとヘゲモニー争いの様相を呈しており、これが次の大戦への引き金になりかねません。

世界人類の危機的状況と この危機を乗り越えるための提案

世界は人口が2050年には100億人に達し、人類繁栄のピークを迎えます。この時、世界の資源は枯渇・逼迫(オーバーシュート)：共喰いしか生存の術がない)、経済は破綻の危機、環境不可逆的悪化(地球温暖化)など危機的な状況を迎えます。

この人類・世界の危機を乗り越えるには、この地球の危機的状況を世界に警告、人類の存続のためには、恒久の平和としかないことを世界に周知せねばなりません。世界平和の実現には、政治・外交の力だけでは限界があります。

ここに、世界中から賢人をあまねく集め、全世界・全人類の高い立場から提言を行い、「世界平和の世論・世界の声」を創り、広め、その力で世界平和を実現することを目的とした「世界アジア平和賢人会議」(注1)の創設を提案します。

(注1)立命館大学名誉教授の安齋育郎さんと實清隆さんが発起人となっています。

「世界人類の危機の状況の根拠を示し、世界に向かって発信しよう」

◆今号の1面に實さんに登場していただくにあたって實さんと懇談をさせていただきましたが、實さんは危機の状況の「根拠」を提示することの大切さを強調されました。紙幅の関係で掲載できませんでしたが、資源・環境・経済等の危機を示すいくつかの統計グラフはとて説得力があるものでした。(深澤)



10/25-26

日本平和大会in 愛知

「戦争する国づくり」を許さない、開催地愛知や全国のたたかいの報告に学び、交流しました

「なくそう！日米軍事同盟・米軍基地 2025年日本平和大会 in愛知」が10月25・26日、名古屋で開催されました。

25日の開会集会には全国から約1000人が参加。奈良県からは平和委員会や民医連、新婦人などから13人が参加し、開会集会のオンラインでの視聴会の取り組みに奈良県から17人が参加しました。

開会集会での全労連議長の開会挨拶、日本平和委員会の千坂事務局長の主催者報告、名古屋大空

10月25日の開会集会では、全国のたたかいを交流し、参加者みんなで合唱しました。来年の日本平和大会は神奈川県で開催されます。奈良県から今年を上回る参加と、奈良県のたたかいの報告を準備していきましょう。

襲の体験談、日本被団協被爆2世委員長の大村義則さんの訴え、全国各地からの報告やアピールには「戦争する国づくり」に対峙するたたかいのリアルが反映され、濃い内容でした。

特に、「政府に核兵器禁止条約の参加を求める高校生署名を政府が批准・署名するまで頑張ります」との愛知の高校生平和ゼミナールの力強い決意表明は参加者を励ますものでした。

開会集会終了後の8つの「学びと交流のつどい」、26日午前の8つの分科会は、どれもとても充実した報告と全国の交流が行われました。開催地の愛知ならではの視点から、日本の軍需産業や軍事基地化の動向が掘り下げられ、大軍拡阻止の展望について学び合うことができました。

あいにくの雨となりましたが、野外で閉会集会とパレードが行われ、名古屋市内で平和の思いを市民にアピールしました。

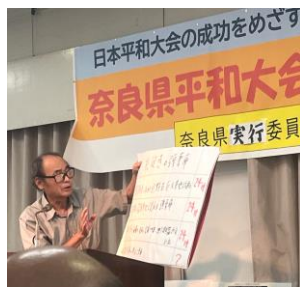
日本平和大会の成功をめざす奈良県実行委員会によるプレ企画

第2回 10/10 奈良県 平和大会に70人

「祝園弾薬庫問題の現段階」

坪井久行氏が講演

日本平和大会の成功をめざすプレ企画として都道府県段階の大会の開催は昨年奈良県が先鞭をつけ、今年はいくつかの府県で取り組みが行われましたが、奈良県平和大会の70人は最大規模となりました。



坪井氏は共産党の精華町議として30年以上祝園弾薬庫問題を議



会場の奈良県教育会館にはオンライン視聴の8人も含めて70人が参加しました。

「祝園弾薬庫問題の現段階」というテーマで講演した坪井久行氏は、核抑止力を前提とする米軍との共同訓練実施などの根拠を示して祝園弾薬庫に核兵器が持ち込まれる可能性がかなり高いこと、祝園弾薬庫の地下に活断層の存在が実証される可能性が十分あるということを強調しました。

坪井講演の後、「戦争する国づくり」に反対する県内のさまざまな分野（奈良教育大学付属小問題・自衛隊名簿提供違憲訴訟・安倍国葬裁判・再審法改正問題・軍拡と医療危機）の運動交流が行われました。

最後に、日本平和大会in愛知に奈良から参加するみなさんが紹介され、25日の開会集会のオンライン視聴会への参加の呼びかけが行われました。



高市自民党に奈良からNOを!!

大軍拡に突き進む 高市政権を許さない



10/16 奈良革新懇の井ノ尾寛利代表世話人が高市自民党の危険性を指摘しました。

奈良革新懇が緊急街頭宣伝

「高市氏の出身地の奈良では歓喜の渦」「初の女性首相の誕生に地元から期待の声」などの報道がなされる中、正面から高市自民党の危険性を街頭から訴え、高市自民党にNO!の声を上げようと、10月16日に奈良革新懇が緊急街頭宣伝を行いました。

雨の中、緊急の呼びかけにもかかわらず、宣伝行動に35人が参加。奈良革新懇の賛同団体からのスピーチを中心に、「高市自民党に奈良からNO!を」のビラ配布やシール投票による対話の取り組みが行われました。「革新懇の3つの共同目標」の横断幕を掲げ、その意義についてもスピーチ。「力を合わせて新しい政治の実現を」と、JR奈良駅前を通行する市民や観光客に呼びかけました。

革新懇の3つの共同目標

- ① 日本の経済を国民本位に転換し、暮らしが豊かになる日本をめざします。
- ② 日本国憲法を生かし、自由と人権、民主主義が発展する日本をめざします。
- ③ 日米安保条約をなくし、非核・非同盟・中立の平和な日本をめざします。

10.19 祝園全国集会に2700人

賛同個人は368人以上、京都・奈良・大阪などの賛同団体は162団体



精華町に全国から2700人が参集。京都府南部としても最大規模の大集会となりました。

「私たちは二度と戦争をしたくない!平和でこそ文化は香り立つ!祝園全国集会」が10月19日、精華町のけいはんな記念公園芝生広場で行われ、奈良県から約2700人が参加。祝園弾薬庫新設に反対する集会として最大規模の集会となりました。地元京都をはじめ沖縄、大分、熊本、広島、兵庫、静岡、愛知、神奈川から急速に進む戦争準備に対峙する運

「祝園に敵基地攻撃ミサイルいらない!」の声を広げよう



住民や宗教者と新しいネットワークをつくってきた「奈良の会」の報告と力強い訴えが注目を浴びました。

動の報告が行われました。「祝園ミサイル弾薬庫問題を考える奈良の会」の佐川愛子さんが「住民や宗教者と新しいネットワークをつくり、『再び戦争しない』『祝園にミサイルを置かせない』の声を広げたい」と力強く訴えました。賛同団体は京都・奈良・大阪などから162団体。その内奈良県は奈良革新懇をはじめ幅広い51団体が名前を連ねました。高市大軍拡を許さない共同の輪をさらに広げましょう。

革新懇の会員・ニュース読者の拡大に力をお貸してください

劇場版

荒野に希望の灯をともし

憲法9条の精神を体現して生きた
医師・中村哲の現地活動35年の軌跡



12月12日(金)

上映時間

- ① 10:00~11:30
- ② 14:00~15:30
- ③ 18:00~19:30

やまと郡山城ホール

前売り券 1,000円

(当日も1,000円)

- 上映実行委員会では、若い世代に鑑賞を広げようと話し合い、「大学生・青年」は半額の500円という料金設定にしました(障がい者の方も)。
- 乳幼児~高校生は無料です。

「〈劇場版〉『荒野に希望の灯をともし』の上映運動に取り組むことを9月の奈良革新懇の総会で確認し、奈良革新懇から賛同団体と地域革新懇に上映実行委員会への参加が呼びかけられたのが10月。短期間の取り組みながら、2回の実行委員会での映画の上映運動の意義を確かめ合いながら諸準備を進めてきました。

既に奈良でもテレビなどで放映された中村哲さんのドキュメンタリーDVDを視聴されたという方もおり、「とてもよかったです」という評価は定着しています。今回の〈劇場版〉は90分に再編集してグレードアップした「完全版」です。

埼玉革新懇がこの作品の上映運動の先頭に立ち、「武力で平和は守れない」というキャッチフレーズとともに大成させていった経緯の報告が注目され、東京や京都、大阪などの地域革新懇でも上映運動が取り組まれてきました。

戦争か平和かの岐路に立つ今だからこそ
世代や立場の違いを越えて
奈良革新懇は幅広い県民のみなさんに
「荒野に希望の灯をともし」の鑑賞を心から訴えます。

中村哲さんは、アフガニスタンでの医療活動だけではなく、用水路づくり、住民との協働—こうした「暮らしを変える仕事」を通じて「歩く日本国憲法」と評され、彼の活動そのものが、憲法9条の精神を体現する実践者だと言われてきました。

奈良出身の高市早苗首相は、暮らしの予算を削る一方で、軍事費だけは歯止めなく増やす姿勢を鮮明にしています。

これが奈良県民の民意ではないことは明らかです。憲法9条を生かし、暮らし守れの声を奈良から上げていきましょう。

映画「〈劇場版〉『荒野に希望の灯をともし』」は、平和とは何かを観客の一人ひとりに問いかけます。

世代や立場の違いを越えて幅広い県民の皆さんの鑑賞を奈良革新懇は心から訴えます。



自衛隊名簿提供違憲訴訟(RYU裁判)

第7回 口頭弁論のお知らせ

日時 11月17日(月) 14:30 ~

●裁判傍聴を希望される方の受付は13時30分頃から始まります。

場所 奈良地裁 101号大法廷

大法廷の傍聴席・67席を満席にしましょう

報告集会

口頭弁論終了後の15時10分から奈良県教育会館4階大会議室で行います。

《ミニ講演》講師:八木和也弁護士(中神戸法律事務所)

「個人情報とは何か。自衛隊法97条・施行令120条が根拠にならないわけ」

オンラインで視聴可

<https://us06web.zoom.us/j/87510980313?pwd=AjPtFSamMoReZxP61r28tFoMouajWp.1>
ミーティング ID 875 1098 0313 パスコード 202605

◆編集後記◆

◆「日に日に世界が悪くなる／気のせい／そうじゃない」はNHKの朝ドラ「ばけばけ」の主題歌(2番)の冒頭の歌詞。ホントにその通りだよなと思う。夫婦ディオのゆったりとしたメロディーにもほっこり。しばらくして、テレビの画面に「けばけばしい女性首相の「とびきりの笑顔」にゾ〜っ。チャンネルを変えるか電源を切ることがいつしか私の習慣に。◆米国・トランプ大統領に媚びへつらい、途方もない大軍拡に突き進む高市早苗首相の出身地である奈良で、「〈劇場版〉荒野に希望の灯をともし」の上映を成功させようではようではありませんか。